

日本福祉介護情報学会第6回研究大会 プログラム

1 大会趣旨

1990年代以降、わが国の社会福祉は計画的な資源整備を進めてきました。とくに2000年以降の社会福祉基礎構造改革によって、民間事業者のサービス事業参入、ケアマネジメントシステムの導入、利用者によるサービス選択などが一定程度可能になってきたところです。また、それに応じて、要援助者のサービス利用意識も向上し、サービスの利用も飛躍的に促進されてきました。

一方、先の介護保険制度改正や障害者自立支援法制定論議の過程でも明らかになってきたように、サービスの増加にかかわらず、これらのサービスが個々人のニーズに総合的に対応していないこと、フォーマルサービスとインフォーマルサポートの有機的な連携が図られていないこと、不要なサービスを組み込んだケアプランが散見されることなどが指摘されています。

これらの課題への対応策として、介護保険制度改正では、ニーズ発見・権利擁護・インフォーマルサポートとの連携などを含めた一連の問題解決プロセスをシステム化するための相談調整機能の強化とそのための社会福祉士の配置、ケアマネジャーへのスーパーバイズを行い困難ケースへの対応を支援する主任ケアマネジャーの配置、介護予防マネジメントを行う保健師の配置などを狙いとした地域包括支援センターを新設することになっています。

一方、企業や自治体経営の場面において、エンタープライズ・アーキテクチャ(enterprise architecture / EA)という考え方が重視されるようになってきています。EAは、簡単に言えば、複雑化した組織(企業や自治体など)の仕組や役割を、それぞれ個別に機能向上させてきた結果、全体としての最適性にかける状態を生み出したことに対する見直しとして、「部分最適」から「全体最適」へと、組織機能の再編強化を図る取組みあるいは考え方ということができ、とくにバラバラに構築された情報システムの標準化や統合化の取り組みをさすことが多いようです。

今年度の日本福祉介護情報学会研究大会は、「福祉情報化のNext Stage—情報化福祉へ—」を大会テーマにして、こうしたEAの考え方を「地域福祉の総合化」に取り入れることの可能性について探ることにしたいと考えています。

関係者や関心を持つ多くの方々への積極的な参加を期待しています。

2 主催: 日本福祉介護情報学会

3 テーマ: 福祉情報化のNext Stage —情報化福祉へ—

4 日時: 2005年12月3日(土) 10:00分~17:30

5 会場: 立教大学新座キャンパス 主会場: N421 教室

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

《連絡先》 電話: 048-471-7283 ・ FAX: 048-471-7283

E-mail: jissi-mail@e-wel.ne.jp

アクセスマップ: <http://www.rikkyo.ne.jp/grp/kohoka/campusnavi/pmap/niiza.html>

キャンパスマップ: <http://www.rikkyo.ne.jp/grp/kohoka/campusnavi/niiza/index.html>

(池袋キャンパスではありませんので、お間違いのないように)

6 プログラム

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~12:00 自由研究発表
- 10:00~10:25
「介護老人福祉施設九十九園における福祉情報化推進過程の報告(2)」
○小林武生氏(大妻女子大学) 渡辺浩氏(介護老人福祉施設九十九園)
- 10:25~10:50
「グループホームにおけるケア記録のIT化とその効果」
○小関祐二氏(日本赤十字広島看護大学) 山本浩子氏(日本赤十字広島看護大学)
- 10:50~11:15
「医療系システムコンサルタントに求められる資質とスキル」
○安形光司氏(アイティール・ナビキュー)
- 11:15~11:40
「立体映像を用いた大学教育における福祉意識の向上」
○中村広幸氏(芝浦工業大学) 安藤昌也氏(アライドブレインズ)
- 11:40~12:05
「アクセシビリティJISの現状と課題」
○梅垣正宏氏(電気通信大学)
- 12:05~12:45 休憩
- 12:45~13:15 学会総会
- 13:15~13:30 休憩
- 13:30~14:00 基調報告
「福祉介護の動向と福祉情報化のNext Stage ~大会テーマ設定の狙い~」
日本福祉介護情報学会代表理事・立教大学 高橋紘士氏
- 14:00~15:00 情勢報告
「介護サービス情報の公表ー介護サービスの情報開示の標準化ー」
社団法人シルバーサービス振興会企画部 久留善武氏
- 15:00~15:10 休憩
- 15:10~17:15 課題提起「福祉情報化のNext Stage ー情報化福祉へー」
- 15:10~15:20
「課題提起の趣旨と聞き方」
(株)NTTデータ システム科学研究所 川森茂樹氏
- 15:20~16:10
課題提起1「日本におけるEAの現状 ~地域福祉への適用可能性~」
(株)日立製作所ビジネスソリューション部 前田みゆき氏
- 16:10~17:00
課題提起2「地域福祉システムにおける全体最適 ~EA概念の適用可能性~」
大正大学人間学部人間福祉学科 長倉真寿美氏
- 17:00~17:15
まとめ
(株)NTTデータ技術開発本部システム科学研究所 川森茂樹氏
- 17:15~17:30 閉会・大会事務局より連絡
- 17:45~ 懇親会

7 参加費

- ①会 員（一般）2,000円 ②会 員（学生）1,000円
③非会員（一般）6,000円 ④非会員（学生）1,000円

※法人会員は2名まで一人2,000円、3名目からは一人6,000円となります。

※当日会員申込をした場合は、暫定会員として会員と同じ参加費になります。

※当日、受付にてお支払ください。事前の振り込みなどは受け付けておりません。

8 懇親会

- (1) 会 場 アカデミックホール（多目的施設3階）
(2) 費 用 一般 4,000円 学生 3,000円
(3) 参加申込 必ず事前の参加申込を行ってください。

9 昼 食

申し訳ありませんが、お弁当の予約はいたしません。学内には食堂と軽食堂がそれぞれ1か所ずつあり、飲み物の自動販売機も数か所設置されています。また正門前にはスーパーマーケットもあり、お弁当やパン類が購入できます。周辺には昼食のとれるところもありますが、昼食時間が短く会員総会もあるため、できるだけ各自でご用意ください。

10 宿 泊

宿泊、列車・飛行機チケット等についての斡旋は行っていません。

11 問い合わせ先

大会事務局（兼学会事務局）：

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室 気付

FAX 048-471-7283

E-mail: jissi-mail@e-wel.ne.jp

※ 今年度は学会事務局が大会事務を行っています。

※ 事務局不在の場合が多いため、電話によるお問い合わせには応じかねます。

12 学会ホームページについて

研究大会ほか、学会活動に関わるさまざまな情報発信を行っていますので、学会ホームページをご覧ください。

日本福祉介護情報学会(JISSI)のホームページ URL : <http://jissi.jp>